

5. 多様なニーズへの対応

2. 多種多様な宿泊施設

●グローバルブランド

世界的に認知されているブランドで高い品質のサービスを提供。高いニーズ対応力やノウハウを持つ。

●ビジネス利用時の利便性

空港からのモノレール沿線等アクセス性が高い那覇市内に多数。件数が多いため、分宿で参加者受入れも可能。

●日本のおもてなし

満足度の高いホスピタリティを提供。リゾートとしてのコンテンツを提供しつつ、運営の面で主催者にも安心感がある。

●沖縄ならではの滞在経験

高いホスピタリティに加え、施設内の滞在だけでも、参加者に沖縄開催のメリットであるリゾート感を提供することができる。

県内に主なシティホテル・リゾートホテルが約80件あり、エリア別、クラス別、コンセプト別にきめ細かく対応可能。

5. 多様なニーズへの対応

3. ユニークベニューの活用

※会議開催時のエクスカージョンの受入れ実績も多数

●美ら海水族館(本部町)

沖縄の海を再現した水族館。名スポット「黒潮の海」水槽前では、大型魚が悠々と泳ぐ大水槽をバックに、海の中にいるかのような幻想的な雰囲気です。レセプション等が可能(立食100人、着席70人)。



●ガンガラーの谷(南城市)

数十万年前の鍾乳洞が崩壊してできた谷間。エントランスホールとなっているガンガラーの谷入口の天然の鍾乳洞のカフェにて、団体で貸し切り利用が可能(100人まで)。

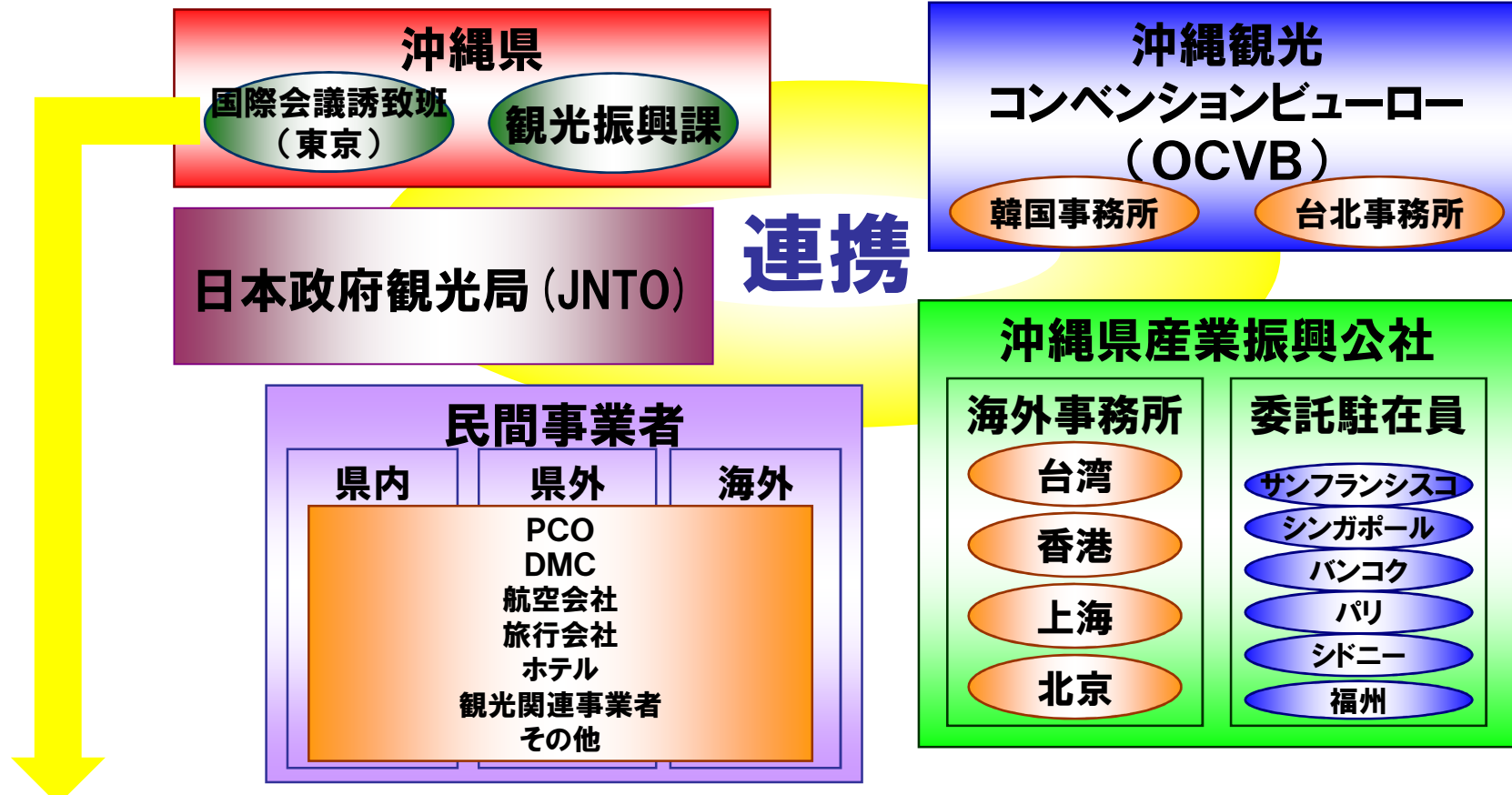


★首里城公園(那覇市)

琉球王朝時代の王城の復元施設とその周辺公園。公園内の一部広場では屋外レセプションが可能(P.15参照)。観光地として国内外の観光客から人気が高い上、その歴史的背景から「正殿広場(原則観覧のみ)」で飲食を伴うレセプション等が開催できるよう、ユニークベニューとして解放を求める主催者の声が多い。

⇒首里城公園(正殿)を含め新たなユニークベニューの開発が求められている。

6. MICE誘致サポート体制



国際会議の沖縄誘致・開催に関するお問い合わせは下記まで！

沖縄県 東京事務所 国際会議誘致班
 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3F
 TEL: 03-3218-3775 FAX: 03-5220-9720

7. 受入体制の拡充

大型MICE施設の整備

平成32年度共用開始を目途に、今後、整備・運営手法の検討、基本設計に取り組んでいく。

●課題

近年、県内既存施設の規模不足により、拡大しているMICEの開催需要を十分に満たすことができず、誘致に結びつかない事例が増加。

●備えるべき要件

1. 施設機能

- コンベンション(会議): 5,000~10,000人規模
⇒5,000人収容会議室+分科会場用会議室+併設展示会の開催
- インセンティブ・トラベル: 1,500~4,000人規模
⇒正餐スタイルで4,000人収容可能な多目的ホール
- イベント: 最大20,000人規模
⇒コンサートやスポーツ観戦で利用可能な大規模スペース

2. 関連施設の集積等

- ホテルやアフターコンベンション施設の集積、相互アクセス性の確保が必要。未集積地ではエリア開発が必要。
- 周辺ホテルには、シングル利用可能であることが望まれる。

3. 那覇空港からのアクセス

- 空港から30分圏内が目安。公共交通機関によるアクセスの充実が望まれる。